

調査票

資料 2 【令和元年度調査票】

はじめに、あなたご自身やご家族のことについてお聞きします。

①～⑥の項目について、あてはまるものを1つずつ選んでください。

① 性別	1 女性 2 男性 3 その他 ※		
② 年齢	1 10歳代 4 40歳代	2 20歳代 5 50歳代	3 30歳代 6 60歳代
③ 結婚	1 結婚していない		
	2 結婚していたが離婚・死別した		
	3 結婚している（事実婚を含む）		<ul style="list-style-type: none"> ① 共働きしている ② 共働きしていない ③ 二人とも働いていない
④ 世帯構成	1 単身（ひとり暮らし） 3 二世帯世帯（親と子） 5 その他（ ）	2 夫婦のみ（事実婚を含む） 4 三世帯世帯（祖父母と親と子）	
⑤ 子ども	1 いない		
	2 いる（別居しているお子さんや妊娠中は含まない） お子さんの年齢区分を教えてください。（あてはまるものすべて） ① 小学校入学前 ② 小学生 ③ 中学生 ④ 中学卒業以上で未成年 ⑤ 成人		
※仕事を一時的に休業している方（育児・介護休業等）は、休業・休暇前の就業形態をお答えください。			
⑥ 就 業	1 していない		① 主婦・主夫 ② 学生 ③ その他（ ）
	今後の就業希望について教えてください。		① すぐにでも働きたい ② いずれ働きたい ③ 働くつもりはない
	2 している（市内） 3 している（市外）		① 正社員・正職員 ② 契約・派遣社員 ③ パート・アルバイト ④ 自営業者（農林漁業、商工業、サービス業等） ⑤ 家族従業者 ⑥ 会社などの役員 ⑦ 自由業（開業医、弁護士、芸術家、作家等）

※①性別の「3 その他」とは、セクシュアルマイノリティを考慮した選択肢です。

戸籍上の区分とは別にご自身の主観によりご記入ください。

男女平等意識と実態についてお聞きします。

問1 あなたは次の分野において、男女の地位は平等になっていると思いますか。

①～⑦の項目ごとに1つずつ選んでください。

	優遇されている 男性の方が	優遇されている 男性の方が どちらかという	平等である	優遇されている 女性の方が どちらかという	優遇されている 女性の方が
① 家庭生活	1	2	3	4	5
② 職場	1	2	3	4	5
③ 学校教育の場	1	2	3	4	5
④ 政治の場	1	2	3	4	5
⑤ 法律や制度上	1	2	3	4	5
⑥ 社会通念・慣習・しきたり	1	2	3	4	5
⑦ 地域活動（自治会・PTA・ボランティア活動など）	1	2	3	4	5

問2 あなたは「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方について、どう思いますか。

あてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|------------------|----------------|
| 1 そう思う | 2 どちらかといえばそう思う |
| 3 どちらかといえばそう思わない | 4 そう思わない |

問3 男女共同参画に関する次の言葉のうち、あなたが見たり聞いたりして、知っているものについてすべて選んでください。

- | | |
|------------------------------------|-----------------------|
| 1 男女共同参画社会 | 2 男女共同参画週間（毎年6/23～29） |
| 3 女性活躍推進 | 4 ジェンダー（社会的性差） |
| 5 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和） | 6 育児・介護休業法 |
| 7 イクメン | 8 イクボス |
| 9 ドメスティック・バイオレンス（DV） | 10 デートDV |
| 11 女性に対する暴力をなくす運動（毎年11/12～25） | 12 マタニティ・ハラスメント |
| 13 性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブ・ヘルス/ライツ） | |
| 14 ポジティブ・アクション（積極的改善措置） | 15 すべて知らない |

※ 用語については「用語の説明」をご覧ください。

仕事や家庭、地域生活などについてお聞きします。

問4 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」(地域活動・学習・趣味等)の優先度について、項目ごとに1つずつ選んでください。

	「仕事」を優先	「家庭生活」を優先	「地域・個人の生活」を優先	「仕事」と「家庭生活」をともに優先	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先	わからない
① あなたご自身の現状	1	2	3	4	5	6	7	8
② あなたの希望	1	2	3	4	5	6	7	8

問5 あなたの家庭では、次の①～④のことを主に誰が担っていますか。項目ごとに1つずつ選んでください。ご自身に該当しない場合は、ご自身ならどうするか想定してお答えください。
なお、配偶者には事実婚等のパートナーも含みます。

	主に自分	主に配偶者	くらい分担 夫婦(自分と配偶者)が同じ	家族 夫婦(自分と配偶者)以外の	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他
① 家事	1	2	3	4	5	6	7
② 育児・子育て	1	2	3	4	5	6	7
③ 介護・看護	1	2	3	4	5	6	7
④ 自治会活動など地域の活動	1	2	3	4	5	6	7

問6 あなたは、次の①～④について、家庭における役割は誰が担うのが望ましいと思いますか。項目ごとに1つずつ選んでください。

	主に夫	主に妻	分担	夫と妻が同じくらい	夫婦以外の家族	家族で交代・分担	有償サービスの利用	その他
① 家事	1	2	3	4	5	6	7	
② 育児・子育て	1	2	3	4	5	6	7	
③ 介護・看護	1	2	3	4	5	6	7	
④ 自治会活動など地域の活動	1	2	3	4	5	6	7	

問7 次の①～⑨の中で、あなたが各活動に費やしている時間は一日のうちどれくらいですか。(配偶者がいる方は、その方についてもお答えください。)該当しない項目は、枠内に「-」を記入してください。回答の合計が24時間になるようにお答えください。

問7は現行プランの指標に関連した設問なので、令和4年度市民意識調査に取り入れません。

	(1) あなた		(2) 配偶者	
	仕事や学校のある日	休みの日 仕事や学校のない日	仕事や学校のある日	休みの日 仕事や学校のない日
① 仕事・学校 (通勤・通学時間除く)	時間 分		時間 分	
② 通勤・通学時間	時間 分		時間 分	
③ 家事 (炊事、買い物、洗濯、掃除等)	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
④ 育児・子育て	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
⑤ 介護・看護	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
⑥ 自治会活動 などの地域活動	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
⑦ 個人の時間 (学習、趣味、友人付き合い等)	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
⑧ 睡眠時間	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
⑨ その他	時間 分	時間 分	時間 分	時間 分
合計	24時間00分	24時間00分	24時間00分	24時間00分

問8 あなたは、仕事と子育て・家庭生活を両立するために、行政や企業においてどのような取組が進めば良いと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

長時間労働の抑制について
<ul style="list-style-type: none"> 1 定時退社の推奨 2 時間外労働削減のための対策 3 始業・終業時刻の繰り上げ・繰り下げ（労働時間は同じ） 4 その他（ご記入ください： _____）
年次有給休暇の取得促進について
<ul style="list-style-type: none"> 5 有給休暇取得の奨励 6 半日単位での有給休暇取得が可能 7 時間単位での有給休暇取得が可能 8 その他（ご記入ください： _____）
制度の整備について
<ul style="list-style-type: none"> 9 育児休業制度の充実 10 介護休業制度の充実 11 子の看護休暇制度の充実 12 短時間勤務制度 13 在宅就業制度（テレワーク等） 14 フレックスタイム制度 15 再雇用制度（退職者をパートタイマー等で優先的に雇用する制度等） 16 その他（ご記入ください： _____）
子育て支援等について
<ul style="list-style-type: none"> 17 認可保育所・認定こども園の増加 18 幼稚園の預かり保育の充実 19 事業所内保育施設の設置 20 認可保育所の延長保育や病児保育など保育サービスの充実 21 フルタイム勤務以外の多様な働き方にも対応する仕組 22 保育施設やベビーシッター等の保育サービスへの補助 23 育児休業・介護休業中の賃金その他経済的補償の充実 24 その他（ご記入ください： _____）

ドメスティック・バイオレンス(DV)についてお聞きします。

問9 あなたは、次の①～⑭の各項目のようなことが、配偶者やパートナー、交際相手の間で行われた場合、それを暴力だと思いませんか。項目ごとに1つずつ選んでください。

問10 あなたは、次の①～⑭の項目のようなことについて、過去1年以内に配偶者やパートナー、交際相手に対して、「した」または「された」経験がありますか。項目ごとに1つずつ選んでください。

	問9		問10		
	暴力だと		した	された	経験は ない
	思う	思わない			
① 平手で打つ	1	2	1	2	3
② 殴るふりをして脅す、刃物などを突き付けて脅す	1	2	1	2	3
③ 大声でどなる	1	2	1	2	3
④ 大切にしているものをわざと壊す・捨てる	1	2	1	2	3
⑤ 相手の交友関係や電話を必要以上に監視する	1	2	1	2	3
⑥ 携帯電話・メール・手紙などを勝手に見る	1	2	1	2	3
⑦ 外出を制限する	1	2	1	2	3
⑧ 何を言っても無視し続ける	1	2	1	2	3
⑨ 「誰のおかげで生活できるんだ」とか、「甲斐性がない」「稼ぎが悪い」などと言う	1	2	1	2	3
⑩ 家に生活費を入れない	1	2	1	2	3
⑪ 勝手に借金をする・無理に借金をさせる	1	2	1	2	3
⑫ 相手が嫌がっているのにポルノビデオやポルノ雑誌を見せる	1	2	1	2	3
⑬ 性的な行為を強要する	1	2	1	2	3
⑭ 避妊に協力しない・妊娠中絶を強要する	1	2	1	2	3

※暴力は、身体的・精神的・性的・経済的暴力等をいいます。

問11 あなたは、配偶者やパートナー、交際相手からの暴力について相談できる場所として、次の窓口や機関があることを知っていますか。あてはまるものをすべて選んでください。

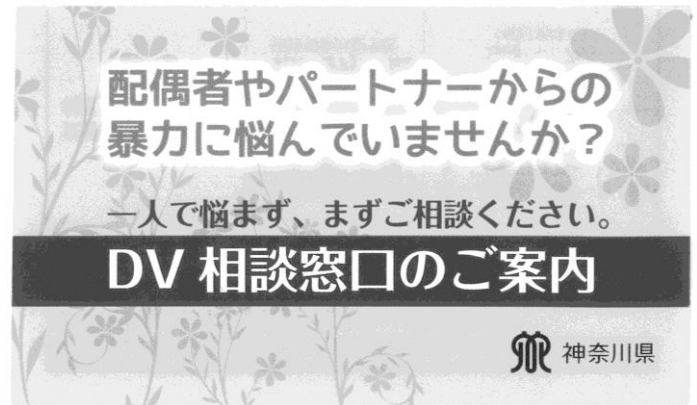
問11は現行プランの指標に関連した設問なので、令和4年度市民意識調査に取り入れません。

- 1 平塚市役所で開設している「女性のための相談窓口」
- 2 神奈川県内の相談窓口（配偶者暴力相談支援センター 他）
- 3 法務局（女性の人権ホットライン、みんなの人権110番 他）
- 4 人権擁護委員（人権相談）
- 5 市役所
- 6 警察
- 7 病院
- 8 その他（ご記入ください： _____）
- 9 相談できる場所を知らない

問12 平塚市では、市役所や公民館などの市内公共施設のトイレに「DV相談窓口のご案内」カードを配架しています。あなたは、「DV相談窓口のご案内」カードを知っていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- | | |
|-------------|------------|
| 1 見たことがある | 2 聞いたことがある |
| 3 もらったことがある | 4 知らない |

「DV相談窓口のご案内」カード



セクシュアルマイノリティ(LGBT 等)についてお聞きします。

問13 あなたは、セクシュアルマイノリティ(LGBT 等)という言葉を知っていましたか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 言葉も意味も知っていた
- 2 言葉は知っていたが、意味は知らなかった
- 3 知らなかった

問14 あなたは今までに自分の身体の性、心の性または性的指向(同性愛など)に悩んだことはありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 はい
- 2 いいえ

問15 セクシュアルマイノリティ(LGBT 等)の方々にとって、現在の社会は偏見や差別などがあり、生活しづらいと思いますか。あなたの考えに最も近いものを1つ選んでください。

- 1 思う
- 2 どちらかと言えば思う
- 3 どちらかと言えば思わない → 問18へ
- 4 思わない → 問18へ

問15で、「1 思う」「2 どちらかと言えば思う」と回答した方にお聞きします。

問16 それは、どのような理由からですか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 いじめ(悪口、いやがらせなど)や差別を受けているから
- 2 自らが認識する性とは異なる性のふるまい(服装、言葉遣いなど)を強要されるから
- 3 性別で区分された設備(トイレなど)を使いづらいから
- 4 書類等で性別の記入を強要されているから
- 5 家族や友人等に相談しづらい状況にあるから
- 6 就職、仕事、待遇等で不利・不当な扱いを受けているから
- 7 同性パートナーとの関係を認めてもらえないから
- 8 法整備が不十分であり、婚姻や相続などで不利益を受けているから
- 9 行政機関などの相談・支援体制が不十分であるから
- 10 その他(ご記入ください:)

問17 あなたは、セクシュアルマイノリティ(LGBT 等)の方々にとって、偏見や差別をなくし生活しやすい社会を実現するために、どのような対策が必要だと思いますか。あてはまるものをすべて選んでください。

- 1 行政による市民への周知啓発活動の実施（講演会・パネル展等）
- 2 行政職員や小中高校などの教職員に対する研修の実施
- 3 相談窓口や当事者同士が話せる場所の充実
- 4 児童・生徒に対する教育の充実
- 5 偏見や差別解消等を目的とする、法律や条例等の整備
- 6 誰もが働きやすい職場環境づくりの取り組み
- 7 その他（ご記入ください： _____）
- 8 分からない

問18 現在、「同性パートナーシップ制度※」を制定している自治体がありますが、あなたは必要だと思いますか。あてはまるものを1つ選んでください。

- 1 思う
- 2 どちらかと言えば思う
- 3 どちらかと言えば思わない
- 4 思わない

※同性カップルを「結婚に相当する関係」と認め、お互いを「パートナー」とすることを自治体が公に証明する制度。

最後に、男女共同参画についてのご意見がありましたら、ご自由にご記入ください。

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒に入れて、**令和元年9月30日(月)まで**にご返送ください。(切手不要)